

8.

心残りだった東北「和鉄のふるさと」WALK

北上 江釣子・砂鉄川・蔵王

「あの高嶺 鬼住む誇り・・・・・・ 北上市市民憲章 」と歌う

東北 鉄の山 気にかかっていた「和鉄のさと」を歩いてー

0307touhoku.htm 2003. 7. 14-15 by M. Nakanishi

沼原(ぬまっぱら)湿原
福島県 2003. 6. 28.北上市 江釣子古墳群・和賀川
岩手県 2003. 6. 14.蔵王連峰 熊野岳とお釜
山形県 2003. 6. 15砂鉄川・猊鼻溪
岩手県 2003. 6. 14.

千葉 柏での単身赴任の4年間 東北へ随分通いました。

北の端 青森・秋田を含め、4年 東北各地を随分訪ねました。僕は 東北好き人間。

神戸に帰るとちょっと遠くなるので、まだ 行けてないところ 気になっている所をチェック

1. 蝦夷 鉄のふるさと 和賀の里 和賀川と北上川の合流点 北上市江釣子
ここには 蝦夷の古墳群があり、その近くには今「鬼の館」が建っている。
2. 北上山地の南の端の山中を流れ、一関近傍で北上川に注ぐ「砂鉄川」
北上川との合流点近傍 東山町では谷が迫り 猊鼻溪という美しい溪谷をつくっている。
今はもう砂鉄が取れないが、透明な流れに砂鉄が沈積し、船頭が歌う民謡を背に川くだりの舟がゆく
3. 山形蔵王連峰と含鉄泉の蔵王温泉
東北の脊梁を南北に貫く奥羽山脈は鉄鉱脈の眠る鉄の山。
東北への新幹線から何時も眺める蔵王連峰。和鉄の話は聞かないが、山麓の蔵王温泉は含鉄泉。
4. 那須連峰の南端 山懐に眠る沼原(ぬまっぱら)湿原
この地は材料屋としてスタートした最初の仕事「高溶接性 70 キロ高張力鋼板が水圧鉄管として使用された揚水発電所建設地。すぐそばには「鬼が面山」がそびえ、山麓の板室温泉の「赤滝温泉」は含鉄泉。

サラリーマン生活を終えるに当たって 是非行ってみたい所 沼原湿原
今はニッコウキスゲが花盛りの時期

6月の週末 6月14, 15日

随分 世話になった「週末 JR 東日本 乗り放題全線パス」これを使って 岩手・山形へ行って来ました。
また、沼原湿原には すっかり引越しの準備を整えて 6月28日 家内と二人で出かけました。

8.1. 蝦夷の故郷 北上市 江釣子と鬼の館 2003. 6. 14.



北上川と和賀川の合流点から奥羽山脈を望む 北上市 2003. 6. 14.



奥羽山脈 和賀岳・焼石岳から流れ出た和賀川が北上川に合流する地域 そこはかつての「蝦夷 アルティの根拠地」現在の北上市。和賀川の北側の段丘地「江釣子」には蝦夷の古墳群 そして江釣子から焼石岳の方へ約1kmの集落 は鬼剣舞の里 そこには北上市立鬼の館が建っている。



北上市 和賀川土手の背後の奥羽山脈と鬼の館

鬼の館で見た北上市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは北上 」 と歌う。



蝦夷の遺跡 江釣子古墳群は 集落の林の中にひっそり ここからも蕨手刀などが出た。

蝦夷の遺跡を意識して立たずんだのは初めて。 感無量でした。

北上市 江釣子 蝦夷の古墳群

2003. 6. 14. 北上山地を縫うように流れ、北上川に一関市の西で北上川に流れ込む砂鉄川。

砂鉄川の名を地図で見つけ、北上川に合流する手前で深い渓谷を形成する猊鼻溪。

一度は大雨で引き返した北上市を今度はゆっくり歩き、和賀川と北上川の合流点にも行ってきました。



8.2. 砂鉄川と狛鼻溪 2003. 6. 14.



北上山地 南端の山中を流れ、一関近傍で北上川に注ぐ「砂鉄川」

北上川との合流点近傍 東山町では谷が迫り 狛鼻溪という美しい溪谷をつくっている。

今はもう砂鉄が取れないが、透明な流れに砂鉄が沈積し、船頭が歌う民謡を背に川くだりの舟がゆく



和鉄のふるさと 「砂鉄川・狛鼻溪」 一関周辺で北上川に合流する砂鉄川

会社の同僚いわく

「狛鼻溪の川下り 酒ワンカップ 持って船に乗り込み 周りの景色をつまみに

船頭の歌う民謡を聞きながら 飲むワンカップ たまらん・・・」と。

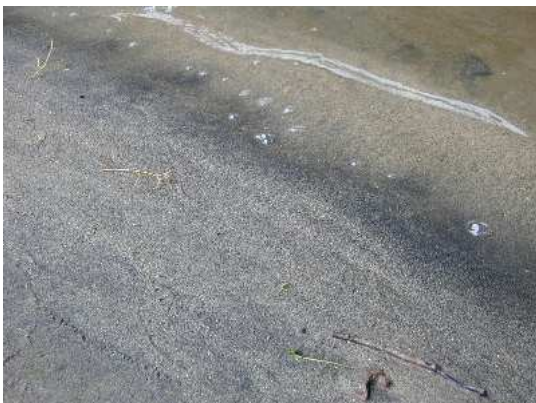
私もその通りしてきました。



砂鉄川・狛鼻溪 川下り 2003. 6. 14.

砂鉄川の名の通り、今はもう 砂鉄が取れなくなったと聞きましたが、川の淵の縁には砂鉄が堆積し、雲母がキラキラ光っていました。

溪谷の緑と砂浜の砂鉄と雲母が織り成す模様に見とれ、船頭の歌う民謡が溪谷にこだまして goo.



狛鼻溪 砂鉄川の川岸に堆積した砂鉄 狛鼻溪で 2003. 6. 14.

黒いのが砂鉄 キラキラ光る黄色いのが雲母

この狛鼻溪から里山の中を縫うように一関に向って走るバス。山間部を抜け、一関の盆地に出る山の出口が舞草。思いもかけず、舞草鍛冶・舞草刀の里「日本刀の故郷」舞草を通り抜けて 一関へ
やっぱり 砂鉄川の鉄が舞草の刀鍛冶を育てたのだろうか・・・・・・
船頭の歌った民謡が耳につきながら 砂鉄川・狛鼻溪の余韻にひた
一関の手前でバスの車窓を楽しみ
つつ一関に帰りました。



山裾に「舞草」の集落がある狛鼻溪→一関のバス車窓から

8.3. 蔵王連峰 縦走 2003. 6. 15.



蔵王連峰 お釜・五色岳を前衛に主峰 熊野岳を望む イワカガミ 縦走路で 2003. 6. 14.

昨年まであまり足を踏み入れていなかった山形。

米沢・横手・山形・鶴岡出かけましたが、いつも東北新幹線で眺めながら素通りの蔵王連峰
梅雨の雨上がり 山形から入って 蔵王のお釜 眺めてきました。

刈田岳一馬の背(お釜)ー熊野岳ー地藏岳ー蔵王温泉

山はイワカガミが満開。残念ながらコマクサはちょっと早くてダメでした。

ビックリしたのは 蔵王の最高峰 熊野岳の山腹はそれこそ 鐵スラグの蓄積と思えるガレの蓄積。

山形側の登山・スキー基地 蔵王温泉が含鐵単純泉であったことと考えあわせると蔵王もまた「鉄の山」



熊野岳の斜面 スラグ状のガレで覆われ、まさに鉄の山 含鉄泉の蔵王温泉を望む

安達太良・吾妻連峰そして蔵王連峰 栗駒・焼石岳から和賀岳から青森岩木山へと長々と東北の脊梁を貫く
奥羽山脈には鐵の鉱脈が続き、ここから流れだす川の 流域には砂鉄が産出。

これを目印に奥羽山脈に産鉄の民がわけいったことであろう。

「蝦夷の和鉄」をそんな風にイメージを膨らましながら 蔵王温泉の湯に入っていました。

「たたら」を訪ねながら 何時も 頭の片隅にあった問いかけ
「鬼は悪者か????」
「蝦夷」「鬼」に持つなとはなしの後ろめたさ



江釣子 古墳群がある和賀川



砂鉄川



蔵王



和賀・江釣子 和賀川越しに奥羽山脈 2003.6.15.

北上市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃えたついのち ここは北上」
と高らかに歌う。

「鬼すむ誇り」と歌う北上市の市民憲章に「東北人の広さ」を感じました。

横手の街を歩いた時にもそう思いましたが、東北には今日本人が忘れかけている日本人の原点がある。
もやもやも 吹っ飛んで、実に 爽快な walk で帰途につきました。

2003. 6. 15. 柏にて

Mutsu Nakanishi